

別記様式第1号-3 (第6関係)

事業実施主体名     〇〇市	
1 事業実施主体の概要 (概要) ①団体の概要     (代表者: 〇〇市長 〇〇 〇〇) ②責任体制       (責任者: 〇〇市 総務課 〇〇 〇〇、副責任者: " 〇〇 〇〇) ③交付金事業に係る自己負担分の拠出元     (〇〇市費)	
2 事業担当者名及び連絡先 ①氏名 (ふりがな) : 〇〇 〇〇 (〇〇〇 〇〇〇) ②所属 (部署名) : 〇〇市役所 総務課 ③役職: 主任 ④住所: 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇9999 番地 ⑤電話: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 ⑥メールアドレス: : abcd-efg@city.hijk.lg.jp	
3 事業対象地域: 〇〇県〇〇市	
4 事業対象地域における食育基本法第18条に基づく市町村食育推進計画の策定率 (※) 〇〇% ※策定率は、本計画の提出時点とする。	
目標: 地域での食育の推進	
目 標 値	
現状 (令和4年度)	事業実施後 (令和5年度)
【地域等で共食したいと思う人が共食する割合】 目標: 家族や友人と食卓を囲み、食事を通じたコミュニケーションを充実させている者の割合 [現状値] 〇〇.〇% (令和〇年度〇〇市世論調査)	同左 [目標値] 〇〇.〇% (令和〇年度〇〇市世論調査により評価)
【主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合】 目標: 栄養バランスに配慮した食生活の実践度 [現状値] 〇〇.〇% (令和〇年度〇〇市世論調査)	同左 [目標値] 〇〇.〇% (令和〇年度〇〇市世論調査により評価)
【学校給食における地場産物活用の促進】 目標: 学校給食における地場産物活用回数 [現状値] 〇〇回/年 (令和〇年度〇〇市学校給食調査)	同左 [目標値] 〇〇回/年 (令和〇年度〇〇市学校給食調査により評価)
【農林漁業体験の機会の提供】 目標: 市立小学校授業における農林漁業体験者数 [現状値] 〇〇人 (令和〇年度市立小学校授業における農林漁業体験者数)	同左 [目標値] 〇〇人 (令和〇年度市立小学校授業における農林漁業体験者数により評価)
【全事業】 目標: 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 [現状値] 74.8% (第4次食育推進基本計画の現状値 (令和3年度))	同左 [目標値] 80.0%以上 (第4次食育推進基本計画の目標値 (令和7年度)) 増加率: △.△% 令和〇年度〇.〇% ※第4次食育推進基本計画の増加率を勘案した場合、令和3年度→令和7年度の増加率は5.2%。単年度あたりの増加率は1.3%であるが、1.3%の増加では事業の効果が見られないことから、諸事情を勘案し、△.△%を増加を目指す。

## 事業の必要性及び目標値の考え方

### 1 事業の目的

#### [全国の課題]

農林水産省の〇〇に関する意識調査（令和〇年〇月公表）によると、〇〇について〇〇と回答した割合は〇〇%であり、第4次食育推進基本計画で策定された目標の〇〇%の達成するために、さらに改善に取り組む必要があると考え、〇〇〇〇・・・・・・・・。

#### [〇〇市の課題]

〇〇市においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、〇〇〇〇・・・・・・・・。これらの社会情勢の変化により、〇〇〇〇・・・・・・・・。家庭での子どもの食事についても、〇〇〇〇・・・・・・・・。

さらに、〇〇市の特産物である〇〇が、市民や子ども達から十分に認知されていないという問題がある。〇〇〇〇・・・・・・・・。その理由は、〇〇〇〇・・・・・・・・であると考え。

#### [事業の目的]

従って、地域の課題を解決するために、こども食堂開催のための支援を継続し、〇〇〇〇・・・・・・・・。これらの施策は、地域のコミュニケーションの活性化につながり、孤独孤立対策にも資するものとする。

さらに、〇〇市の子どもたちの食を取り巻く環境の変化に対応するため、令和〇年度よりこども宅食の実施を予定しており、〇〇〇〇・・・・・・・・。

また、〇〇市の特産物である〇〇が市民や子ども達から十分に認知されていないという問題に対しては、学校給食において〇〇を使った献立開発に取り組むことで、〇〇〇〇・・・・・・・・。市民の〇〇の食文化の保護・継承への理解や関心の高まりが期待される。

併せて、子どもたちに農作物の生育から消費に至るまでの過程を理解してもらえよう、食育のための〇〇収穫農作業体験の実施も併せて行う。〇〇〇〇・・・・・・・・。

#### [取組内容]

##### 1 共食の場における食育活動

###### ・こども食堂開催のための支援

市内の〇〇こども食堂では、地域の住民、子供からお年寄りを集め、共食の大切さを伝えるための取組を行っており、〇〇〇〇・・・・・・・・。

〇〇こども食堂開催の開催をすることで、〇〇こども食堂を通じて地域のコミュニケーションが、〇〇〇〇・・・・・・・・。孤独孤立対策に資するものとする。

実施時期：令和〇年〇月～〇月

実施回数：計〇回

実施場所：市内〇〇こども食堂

##### 2. 食文化の保護・継承や日本型食生活の実践のための取組支援

###### ・栄養バランスに配慮したこども宅食献立開発及びこども宅食実施のための支援

〇〇市では、令和〇年度から〇〇こども宅食の実施を予定しており、献立開発には、市内の農産物生産者や栄養士等の意見を参考にしながら、栄養バランスが整った内容となるよう、〇〇〇〇・・・・・・・・。

また、〇〇こども宅食の実施の際には、食材や弁当を各家庭に配送をすると共に、栄養バランスに配慮した食生活の実践に役立つようなガイドブックやチラシを同封し、

〇〇〇〇・・・・・・・・。

実施時期：令和〇年〇月～〇月

実施回数：計〇回

実施場所：市内〇〇こども宅食

##### 3. 学校給食における地場産物等活用の促進

###### ・地元食材を活用した学校給食献立開発

〇〇市の特産物である〇〇を学校給食にも活用できるよう、〇〇〇〇・・・・・・・・。

また、地元食材を活用した献立開発には、市内の農産物生産者や保護者等にも参加してもらえよう、〇〇〇〇・・・・・・・・。

実施時期：令和〇年〇月～〇月（計〇回）

実施回数：計〇回

実施場所：市内小学校〇〇校

#### 4. 農林漁業体験の機会の提供

##### ・学校向け〇〇収穫農作業体験の実施

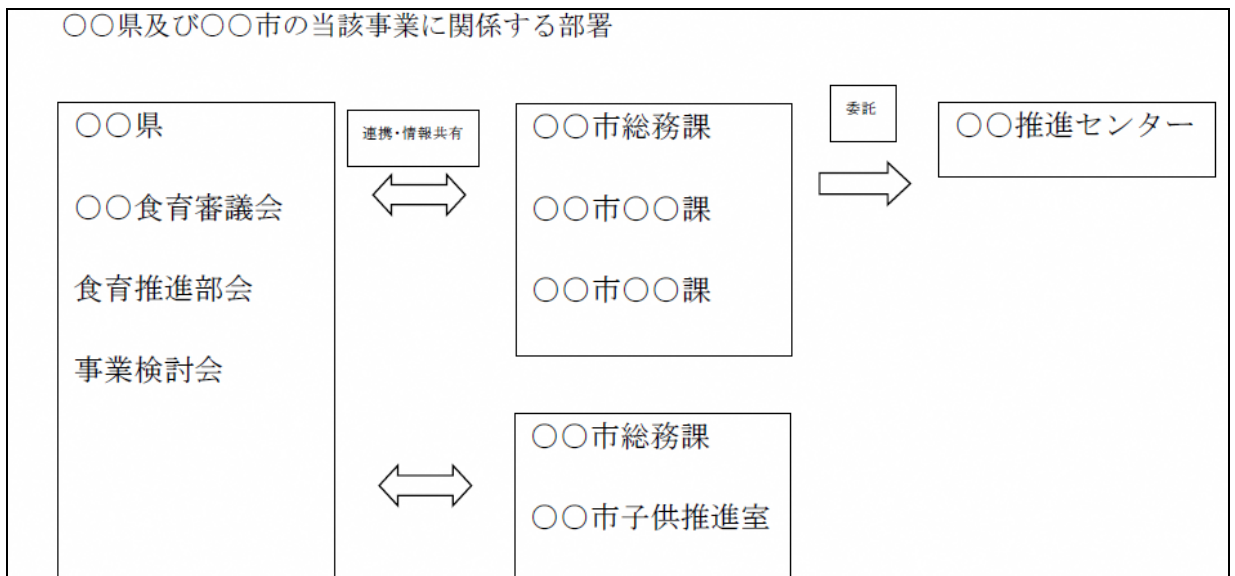
〇〇市の特産物である〇〇を子どもたちが実際に触れる機会として、〇〇〇〇・・・・・・・・。さらに、子どもたちに農作物の生育から消費に至るまでの過程を理解してもらえよう、〇〇〇〇・・・・・・・・。

実施時期：令和〇年〇月～〇月（計〇回）

実施回数：計〇回

実施場所：市内〇〇農園〇か所

## 2 実施体制



#### 委託関係

〇〇の取組のうち〇〇を委託する。

委託先：〇〇〇

取組内容：〇〇

委託費：〇〇円

### 3 事業内容 ※事業区分ごとに具体的な内容を記載

事業項目（取組内容）	実施場所	実施時期・回数	対象者・数	備考
1 共食の場における食育活動 ・こども食堂開催のための支援	市内〇〇こども食堂	令和〇年〇月～〇月 (計〇回)	未就学児、小学生、中学生、高校生、市民 計〇〇名	
2. 食文化の保護・継承や日本型食生活の実践のための取組支援 ・栄養バランスに配慮したこども宅食献立開発及びこども宅食実施のための支援	市内〇〇こども宅食	令和〇年〇月～〇月 (計〇回)	市内の農産物生産者、栄養士、こども宅食実施団体 計〇〇名	
3. 学校給食における地場産物等活用の促進 ・地元食材を活用した学校給食献立開発	市内小学校〇〇校	令和〇年〇月～〇月 (計〇回)	市内の農作物生産者、学校関係者、保護者 計〇〇名	
4. 農林漁業体験の機会の提供 ・学校向け〇〇収穫農作業体験の実施	市内〇〇農園〇か所	令和〇年〇月～〇月 (計〇回)	小学生 計〇〇名	

### 4 波及効果

今回の事業では、対象が市民と子どもたちであるため、〇〇〇〇・・・・・・・・。

食文化の保護・継承への理解や関心の高まりが期待され、〇〇〇〇・・・・・・・・。

そして、今回の事業の取組を、市のホームページやSNS及び広報誌等により、市民に対して情報発信することで、〇〇〇〇の増加を図る。

- ・ホームページの掲載：〇回 閲覧者数 約〇万人
- ・SNSへの掲載：〇回 閲覧者数 約〇万人
- ・広報誌：〇回 全世帯 約〇万世帯へ配布

以上により、今回の事業は、国の第4次食育推進基本計画や〇〇県食育推進計画で策定された目標達成に寄与し、国産農林水産物の魅力の再発見に寄与することが思料される。

### 5 事業成果・効果の検証方法

- ・各事業終了後に、参加者を対象にアンケート調査により効果測定を行う。  
〇〇〇〇・・・・・・・・。
- ・さらに、〇〇の時点で〇〇に関する意識調査を行う。

### 6 その他事業の推進に必要な事項

事業メニュー及び交付金要望額					
事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・規模等)	所要額 (円)	交付金要望額 (円)	交付率
〇〇市	共食の場における食育活動	こども食堂開催のための支援 計〇回	〇〇円	〇〇円	定額
	食文化の保護・継承や日本型食生活の実践のための取組支援	栄養バランスに配慮したこども宅食献立開発及びこども宅食実施のための支援 計〇回	〇〇円	〇〇円	定額
	学校給食における地場産物等活用の促進	地元食材を活用した学校給食献立開発 計〇回	〇〇円	〇〇円	定額
	農林漁業体験の機会の提供	学校向け〇〇収穫農作業体験 計〇回	〇〇円	〇〇円	定額
			〇〇〇円	〇〇〇円	